



春を告げる 第53回川口市花の文化展

3月1日・2日、川口緑化センター・樹里安とリリアの2会場で開催。江戸の昔から歴史を刻む本市特産の枝物や切花などが会場を包み、訪れた市民は、一足早く春を告げた花々に、顔をほころばせていました。



第44回初午太鼓コンクール

3月9日、リリアで開催。子どもの部28チームと一般の部27チームが、川口伝統の拍子を力強く演奏し腕を競いました。



KAWAGUCHI PUBLICITY

第62回川口市少年少女ふれあいなわとび大会

3月1日、芝スポーツセンターで開催。「10人以上並びとび」や「長なわ1分間とび」に4千人を超える小学生が、また親子とびに143組が挑み、練習の成果を競い合いました。



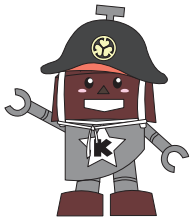
第56回川口市明るい街づくり運動推進大会

3月1日、「地域の子どもは地域で守り育てる」をスローガンに、リリアで開催。家庭・学校・地域社会が連携し、青少年への愛情と健やかな成長を支援する熱意を持って、明るい街づくりを進めようと誓い合いました。



第33回川口市親と子の音楽会

2月23日、リリアで開催。川口市少年少女合唱団と川口市民オーケストラによるジョイントステージや指揮者体験コーナーなどが行われ、親子で楽しいひとときを過ごしました。



第22回春の植木大せり市

3月11日、植物取引センターで開催。約3万点の樹木に全国から大勢の生産者や買受人が集まり、威勢のいい掛け声が飛び交いました。



第2回かわけんダンスフェスティバル

3月16日、アリオ川口で開催。川口の人と街を健康にするプロジェクト「かわけん」主催のダンスイベントで21チームが参加しました。きゅぼらんも日光御成道まつりPRキャラバン隊とともにかわけんダンスを披露しました。

COMMUNITY

マイシティ
かわぐち

MYCITY

ひと・歴史・かわぐち Vol. 15

このコーナーでは「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」に登場した川口ゆかりの人物を紹介していきます。

江戸から明治へ近代の黎明

大砲組・勝海舟

今回は、欧米列強の脅威が高まる幕末期、国家の自由独立を支えた川口ゆかりの人々をご紹介します。

幕末期、幕府軍備の近代化の先駆者となった西洋砲術家高島秋帆（本年2月号掲載）。高性能西洋式大砲を次々と製造し、秋帆から褒状を受けた川口鋳物師増田安次郎（本年3月号掲載）。こうした川口ゆかりの人物をはじめ、国を憂う人々の大きなうねりの中で、幕府は、日米和親条約を結び開国、西洋式軍備を整えていきます。

その一翼が陸軍です。大きな戦力となったのが火砲を取り扱う集団「大砲組」。陸軍大砲隊の砲手たちです。彼らが操ったのは「仏式四斤山砲」。散弾、榴弾などの砲弾を放ち、射程距離2600mの威力を誇りました。もう一翼は海軍。開国後の安政2年（1855）、幕府は海軍伝習所を長崎に作るとともに、咸臨丸を米國へ派遣し、人材の育成に努めます。その中の一人が勝海舟でした。海舟は、やがて軍艦奉行、陸軍総裁を経

た。今も宿すまちなのです。

参考文献：『玉島地方史』中、大田茂樹 1991、忘牛庵



内本殿は市指定文化財。海舟揮毫の大幟は縦8m、横98cmの大きさで、複製した幟を例祭等で見ることができる。
前川神社：前川町3-374

